

令和5年7月20日

自分の生き方を求め 今を大切に
朝日中生を育成する

奄美市名瀬朝日29番地1
TEL 52-1195 FAX 52-1695
HP: <http://www.city.amami.kagoshima.jp/asahi-j/>



琢磨

主造律
自創規

朝日中通心

生徒数 (令和5. 7. 14現在) 総数 295名
1年 106名 2年 87名 3年 102名

朝日中学校の歴史2

校長 山 宗功

【昭和三十二年】 全校生徒百三十七人
新校舎建設開始。

【昭和三十四年度】 全校生徒百二十二
五月、新校舎完成。移転はしたものの校庭は田んぼや草原のまま。運動場としては使えず、十月まで放課後や休日の奉仕作業、校区民も協力して完成。

【昭和三十五年】 全校生徒百五十五人
二月給食室完成。完全給食実施。

【昭和四十年】 全校生徒二百二十九人
第十七回卒業記念時計台設置。第十八回卒業記念焼却釜設置。

【昭和四十二年】 全校生徒二百十八人
体育館落成。

【昭和四十三年】 全校生徒二百三十六人
第二十一回卒業記念校門設立。日直廃止。

【昭和四十五年】 全校生徒二百三十六人
校門にソテツ植樹 プレハブ校舎建設。

【昭和四十六年】 全校生徒二百一人
観賞池造成。

【昭和四十七年】 全校生徒二百三人
プール竣工。

【昭和四十九年】 全校生徒一八一人
校舎新築。卒業記念高倉建立。

【昭和五十一年】 全校生徒百六十七人
ソニー賞受賞記念岩石園完成。特別教室竣工。

【昭和五十二年】 全校生徒百六十人
校庭拡張第一期工事完工。

【昭和五十八年】 全校生徒二百十人
校門側フェンス完成。

【昭和六十年】 全校生徒二百五十四人
新校舎(体育館隣)三教室落成。

【昭和六十二年】 全校生徒二百九十五人
校門扉ステンレス製設置。

【昭和六十三年】
グラウンドブロック壁フェンス設置。焼却炉設置。

国旗・市旗・校旗掲揚台設置。



合唱コンクールを開催しました!

七月八日(土)に合唱コンクールを開催しました。本年度は入場制限をかけずに、多くの方々に鑑賞していただきました。合唱コンクール当日は朝早くから文化部の生徒たちが先生方とともに会場準備をしてくれました。そして、三年生にとつては中学校生活最後の合唱コンクールになるため、合唱前の休憩時間にそれぞれの学級で集まり、練習したり、円陣を組んだりして思いを込めていました。これまで、それぞれの学級が音楽の授業や昼休み・放課後の時間などを使って練習に励んできました。当日、三年生はもちろん、一・二年生もこれまでに練習してきた学習の成果を十分に発揮することができたと思います。生徒たちの練習への取組や本番の表情を見てみると、改めて学校行事の大切さや素晴らしさを感じました。保護者の皆様の御協力により、無事に開催できましたことを心より感謝いたします。今後とも御協力のほどよろしく願いたします。

7月も様々な体験学習で深く学びました

職場体験学習（3年生）

7月12日(水)・13日(木)の2日間35の事業所に生徒の受け入れをお願いして職場体験学習を実施しました。これから進路選択をしていく生徒たちも将来における望ましい職業観について考えたり、社会人・職業人としての適応力を高めたりする良い機会にすることができました。生徒たちは大変だったようですが、体験後の表情からとても充実した経験だったと感じることができました。



奄美看護福祉専門学校訪問（2年生）

7月12日(水)に奄美看護福祉専門学校への授業体験を行いました。コロナもおさまり終日体験をすることができました。内容は、全体説明の後、福祉学科やこども・介護学科について学びました。福祉学科については、福祉に関する機器や用具等の正しい知識を学び、こども・介護福祉学科については、介護に関する体験学習をしたりすることが目的になります。来年度に繋がるとても充実した活動になりました。



よむのび教室（1年生）

7月12日(水)に新聞の読み方や書き方を学び、学習の中での情報収集・発信にいかすことを目的としてよむのび教室を開催しました。南日本新聞読者センター長の原田茂樹様をお招きし、新聞の歴史や新聞に関するクイズ、これまで新聞がどのように作られてきたのか等を説明していただきました。自分にできることは何かということを実際に考えながら、取り組むことができました。



学校評価の御提出ありがとうございました 家庭生活についてもみんなで考え、学習していきましょう

学校評価の御提出ありがとうございました。学校評価は、多面的な立場から学校の教育実践や家庭での取組を把握・分析し、今後の教育活動のよりよい実践にいかしていくことが目的です。また、保護者の方々が家庭での生活を振り返ることで子どもたちと一緒に生活改善を目指すきっかけになることを目指しています。提出状況は以下のとおりです。

1 学校評価について

ほとんどの項目で3.0以上のポイントであり、学校の教育活動に肯定的であると考えられます。

生徒は学習内容が身に付くように家庭学習に取り組んでいますか。(毎日120分以上)という項目が全学年で3.0を下回っています。家庭学習120分の定着が難しいよう

です。月毎の生活の記録の振り返りなどを生かし、生活改善、学習時間の確保を目指してほしいと思います。

※奄美市全体としては6090運動(小学生は60分、中学生は90分の家庭学習)を推進しています。

	1年全体	2年全体	3年全体	全校
R 2	75%	73%	66%	71%
R 3	54%	71%	75%	66%
R 4	87%	80%	75%	81%
R 5	67%	76%	50%	64%

2 家庭評価について

生徒を称賛することや傾聴の姿勢、家庭生活におけるしつけなどは、高い傾向がみられます。全体的に学習に係る項目について低い傾向にあり、家庭学習の雰囲気づくりや保護者の見届け等が課題としてみられます。

項目によっては、学年としての課題もみられるため、学校や学級長と連携し、学級通信や学年通信で話題に取りあげたり、学級PTAや教育相談の議題とするなど課題の克服を目指せたらと思います。

生活の記録の振り返りや日頃の家庭学習への取組など複合的に生かしていただければと思います。

先生方も頑張っています！ 人権同和教育に関する職員研修



7月10日(月)に人権同和教育に関する職員研修を開催しました。内容については、担当教諭である勝山先生が研修で学んできたことを基に研修を深めました。

本校では、今週1週間(7月10日～7月16日)を校内人権週間に設定しています。

これからも同和問題の解決に向けて正しく理解し、認識を深めながら、今後の教育活動を推進していければと考えています。いよいよ夏休みに入ります。生徒たちと同和問題をはじめとした人権に関する話をしていただき、正しく理解し、認識が高まるよう御協力いただければと思います。

同和問題（部落問題）とは・・・

同和問題（部落問題）は、日本社会の歴史的過程で形づくられた身分差別により、一部の人が、長い間、経済的・社会的・文化的に厳しい環境を強いられ、今なお日常生活で様々な差別を受けている、我が国固有の人権問題であり、日本国憲法によって保障される基本的人権を侵害する重大な社会問題です。

※【引用文献】令和5年度版 人権教育研修資料 なくそう差別 築こう明るい社会 同和問題 基礎資料

7月行事について 7月22日(土)～28日(金) 県総合体育大会 地区大会を勝ち上がった部活動が出場します。

8月行事について 8月1日(火)、8月21日(月)は出校日(通常登校)になります。

※ 日程の変更等については、安心・安全メールにて発信しますので、御確認ください。

